

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 28-006

PDCA	事務事業名	成人式運営事業	部課等名	教育部生涯学習課 生涯学習担当	担当	北上	
					内線等	23-7341	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 1. 生涯学習 単位施策： (3) 生涯学習プログラムの充実 個別施策： ①市民ニーズや地域課題に対応できるプログラムの充実					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	成人式の開催を通して、新成人の門出を祝い、激励することで、大人になったことを自覚し、義務と責任を持って社会に参加できるようにする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	新成人が主体となった実行委員会を立ち上げ、自ら企画運営する成人式を「成人の日」の前日の日曜日に雁宿ホールで開催する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①成人式参加人数	1,063	1,061	1,040	人	
		②実行委員会実施回数(雁宿ホール開催分のみ)	9	8	10	回	
		③実行委員人数	14	12	10	人	
		事業費	226	267	237	千円	
		人件費	2,001	1,242	3,087	千円	
		総事業費	2,227	1,509	3,324	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①成人式参加者1人当たりの経費	2,095	1,422	3,196	人/円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①新成人参加率	実績値	76.5	80.3	76.6	%
			目標値	83.0	83.0	83.0	
			実績値				
			目標値				
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	事業の 評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
		C					
		新型コロナウイルス感染症の影響により式典の開催中止を危惧したが、新成人による実行委員(10人)が主体となり、午前・午後の2部制、式典時間の短縮、会場内の指定席化等開催方法の見直しを図り、開催することができた。新型コロナウイルスの影響で目標とする参加率の達成はおろか、式典への参加率の大幅な低下を心配したが、例年並みの参加率を確保できた。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	民法改正に伴う成人年齢の引き下げにより、令和4年度以降の成人式をどう扱っていくかということについて近隣市町や全国各地の動向を注視し、実施内容や方法について検討していく。					
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①新成人参加率			83.0	%	